



問 中学校の部活動の地域展開は公教育の再生につながるのか

国のガイドラインにのっとり、津市においても令和8年8月から中学校の部活動の地域展開が実施される。これは、学校単独での部活動の維持や専門的な指導者の確保、教員の長時間労働といった課題を解消し、中学生の運動の機会を確保するため、また、公教育の再生を実現するために実施されるが、どのような計画で課題を解消し、その先にある公教育の再生を達成するのか。

答 公教育の再生等の観点を踏まえ部活動の地域展開を行っていく

文部科学省のガイドラインにおいて、令和8年度から令和13年度までに原則として全ての学校部活動について地域展開の実現を目指す方針が示され、津市は令和8年夏から令和11年夏までの3年間に拠点型部活動を実施する。拠点型部活動では、学校の枠を超えて生徒が集まることで活動人数を確保し、指導を希望する教職員等から専門性を生かした指導を受けることができるなど、活動内容の充実が期待される。部活動改革に当たっては、教員の多忙な勤務状況に鑑み、公教育の再生等の観点を踏まえ、学校教育の質の向上に資する学校における働き方改革の推進を図っていく。

その他の質疑・質問

- 美杉地域内林野火災の対応について
- 消防団活動について
- 操法大会・消防団員募集について
- こどもまんなか社会実現に向けた取り組みについて
- こどもの遊び場づくりについて
- 公共施設における授乳室の設置について など

三重県消防操法大会において津市消防団として初優勝した



問 すべての子どもが英語を話せる津市に

オンラインによるマンツーマン英会話レッスンとは、一人一台端末を活用し、海外在住の外国人講師とオンラインで結び、マンツーマンで英会話を行う授業であり、子どもたちの英語での発話量を大幅に増加でき、一人一人の英語力に合わせた学びの機会が提供できる。家庭の経済状況に関係なく子どもが英語力を身につけられるオンラインによるマンツーマン英会話レッスンの導入を。

答 AIの活用など新たな英会話学習の取り組みも研究していく

オンラインでの英会話については、令和5年度から小学校・義務教育学校の3～6年生の児童を対象に、ALTと児童宅をオンラインで結び、英語でやり取りを行う「津市イングリッシュ・ルーム・オンライン」の実施や、中学校等では会話や発表を評価する「パフォーマンステスト」などにおいて、ALTと生徒が直接英語で対話する取り組みを行っている。また、休み時間や放課後など授業外において、ALTと児童生徒が会話する機会を設けている。マンツーマンで学習する機会は非常に重要であり、AIを活用したタブレット端末での学習など新たな取り組みも研究していく。

その他の質疑・質問

- 過去に津市内で発生した火災について
- 空き地の枯れ草等の火災予防対策は
- 相川上流排水区における浸水対策は
- 波瀬川第一排水区ほかにおける浸水対策は
- 過去に市内で発表されたクマアラートについて
- 放任果樹の伐採等の対策は
- 健康経営優良法人の認定を

森林等に立ち入る際は、鈴、笛、ラジオなど音のするものを携帯し、単独行動は避けましょう

